

科目名	地域・在宅看護援助論 I				
担当講師名	田中千恵子	所属・役職	看護教員	資格・免許	看護師
担当講師名	菊池 英理子	所属・役職	二戸訪問看護 ステーション所長	資格・免許	看護師
授業形態	講義・GW・演習	単位数・時間数	1 単位 20 時間	開講年次	2 学年後期
講義の概要	<p>在宅で療養している人々と家族の暮らしについて事例展開を通し、生活者としての価値観や人生を捉える。また、自己決定や介護力、社会資源の活用を踏まえ家族を一単位として捉えた看護過程を展開できる基礎的能力を養う。</p> <p>また、チーム医療は在宅で療養している人々と家族の暮らしを支えるために不可欠である。そのため福祉・医療系の各専門職の役割・活動、患者・家族に必要な福祉・医療活動について考える機会を設ける。チーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性や専門職の連携の課題を学ぶ。</p>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・療養者と家族の事例展開を通し、在宅療養者と家族の生活環境、価値観や意向、家族介護力、社会資源の活用に着目した看護を理解できる。 ・エンパワーメントアプローチを用いて対象の自己決定を促す指導が体験できる。 ・チーム医療を促進するための協働の必要性を理解できる。 ・チーム医療における専門職の連携を促進するための課題を考察できる。 				
講義回数	講義内容				
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	<div> <div> 1. 訪問看護の魅力と責任 ・訪問看護ステーション（訪問看護サービス）紹介 ・訪問看護の展開の実際 2. 在宅看護の特徴と看護の視点 ・療養者と家族全体を対象として捉える ・医療と生活面を捉える（暮らし） ・療養生活の希望・意向 3. 事例展開：看護が支える様々な人の暮らし <難病とともにくらす人を支える> 1) アセスメント：全体関連図 療養者、家族の強みと弱み 2) 看護課題の明確化 3) 援助計画 ・療養者、家族の強み・弱みに対する援助 ・連携 4) 援助場面のロールプレイとデブリーフィング ・エンパワーメントアプローチを用いた自己決定を促す指導 5) 援助計画の評価 4. チーム医療アプローチ（演習） 教員 </div> <div>外部講師</div> </div>				
教科書等	テキスト「地域・在宅看護の実践」医学書院 参考テキスト 「在宅看護過程」医学書院 「家族看護を基盤とした地域・在宅看護論」日本看護協会出版会 適宜、資料配布				
成績評価方法	出席状況、授業参加状況、課題、筆記試験等により総合的に評価する。				
履修上の留意点	既習の各看護学、法規の知識を踏まえ授業の望む。				
特記事項					